

— 製品紹介 —

メルトニーダ車(電気式塗料溶解装置)

1.はじめに

メルトニーダ車(電気式塗料溶解装置)は皆さまが普段利用している道路、駐車場などの白線に使用される路面標示用塗料を電気で溶解する装置です。

弊社電気式メルトニーダMSN-300-IIは、お客様のニーズに合わせて開発されました。

そして今回、お客様から「こうして欲しい」「こうだったら使いやすい」との具体的な声をいただき、改良を重ね作業性向上を実現。発電システムにも改良を加え、より一層の省エネ化にも成功しました。

2.特徴

従来LPガスを使用して溶解していましたが発電機を使用し電気で溶解することにより火災の心配もなく、走行中にも溶解できることにより現場に着いて作業がすぐ行えます。(気温によ

るが約30～40分)作業者の安全第一で安心して使用していただけます。

3.環境対策

ガスではなく発電機を使用しているためCO₂削減でCO₂排出量がガスに比べ約81%削減と環境にもやさしく、電気を使用していることでコストダウンにも繋がります。

4. 高い品質

従来のLPガスによる底面のみ直接直火方式と違い、温度上昇を釜の全体(底面および側面)で、電気特性による定率直線的に行いますので、むらのない高品質な状態に仕上がります。また、従来型と比べその保温性は、数段向上していますので追い炊きはよりスピーディーに溶解できます。



写真1 メルトニーダ車



写真3 発電機



写真2 操作盤

コントロールパネルを背後に設置し、広い荷台スペースを確保。

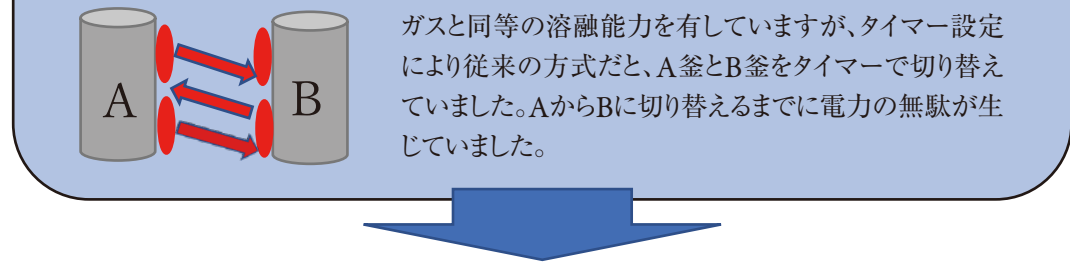


写真4 材料投入口

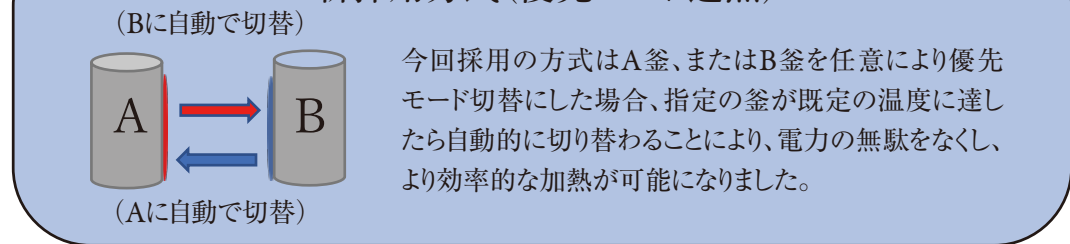
従来後ろ向きとしていた材料投入口を、作業のしやすさを考え前向きとし、投光機を設置しました。

余った電力新システムを無駄にしない採用

従来型方式(タイマー切り替え交互過熱)



新採用方式(優先モード過熱)



5. ランニングコストとCO₂量

※比較条件:価格は建設物価2022. 05

軽油:1L当たり140円 LPG:1kg当たり235円

発電機 DCA-45LSK 車両 ディーゼルエンジン

(従来型ニーダでは攪拌時にアイドリングが必要です)

5-1.ランニングコスト比較

(道路標示ライン材460kgを3時間で溶解した場合の比較)

	電気式メルトニーダ	L P ガスニーダ車
軽油	4.0l/h×3h×140 円=1,680 円	1.0l/h×3h×140 円=420 円
L P ガス	0	3.3kg/h×235 円=2,325 円
計		2,745 円
※ 1 t あたり換算	1,680 円÷0.46=3,652 円	2,745 ÷ 0.46=5,967 円

※ランニングコストは従来型比較で約61%

